

平成 19 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号

平成 19 年 12 月 19 日
鳥取県病害虫防除所

- 1 病害虫名 インパチェンスネクロティックスポットウイルスによる病害
- 2 病原 インパチェンスネクロティックスポットウイルス
Impatiens necrotic spot virus (INSV)
- 3 発生作物 プリムラ
- 4 発生確認の経過
 - (1) 平成 19 年 11 月、ポット栽培のプリムラ (*Primula malacoides*) の葉にモザイク症状が認められた。本症状から、ウイルス性病害が疑われたため、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センターに診断を依頼したところ、D I B A 法及び R T - P C R 法によって、罹病葉からインパチェンスネクロティックスポットウイルス (I N S V) が検出された。
 - (2) 本ウイルスによる病害は、アメリカにおいてインパチェンスで最初に発生が確認された。国内では、平成 11 年に静岡県のパーベナで初めて発生が確認され、以後 23 都道県で確認されているが、本県では初確認である (表 1)。
- 5 病徴
本ウイルスによる病徴は、えそ、黄化、モザイク症状等で、輪紋、斑点、条斑を伴うこともある。しかし、植物種や品種により病徴の現れ方が異なる場合があり、病徴によって他のウイルス病と区別することは困難である。
プリムラでの病徴は、主に葉のモザイク症状である (写真 1、2)。
- 6 病原ウイルスの特徴
 - (1) 伝搬方法
本ウイルスは、ミカンキイロアザミウマおよびヒラズハナアザミウマにより伝搬されるが、特にミカンキイロアザミウマの伝搬能力が高い。これらは幼虫の時にのみ本ウイルスを獲得し、保毒幼虫が成虫になるとウイルスを媒介できるようになる。一度ウイルスを保毒すると終生伝搬能力を保持する (永続伝搬) が、経卵伝染はしない。汁液接種によって伝染は可能であるが、隣接した株への接触伝染の可能性は低いとされている。また、土壌伝染および種子伝染は現在のところ報告されていない。
 - (2) 宿主範囲
本ウイルスの宿主範囲は極めて広く、花き類を中心に多くの植物で感染が報告されている (表 1、表 2)。

7 防除対策

- (1) 青色粘着トラップを設置するなどして媒介虫となるアザミウマ類の発生動向を把握し、発生初期からの防除に努める。
- (2) 施設の開口部には防虫ネット(1mm目以下)を張り、アザミウマ類の侵入を防ぐ。
- (3) 発病株は伝染源となるので、見つけ次第取り除き、ビニール袋に密閉するなどして適切に処分する。
- (4) 本ウイルスの宿主範囲は極めて広いため、施設内には、栽培と関係ない植物を持ちこまない。また、施設内外の除草を徹底する。



写真1 プリムラのINSV感染株



写真2 モザイク症状を示す罹病葉(拡大)

表1 各県におけるINSVによる病害の発生状況

発生年度	都道県名	植物名
平成11年度	静岡県 岡山県 福岡県	バーベナ シネリリア, インパチェンス, ベゴニア, トマト インパチェンス
平成12年度	神奈川県 秋田県	フロックス, ミムラス トルコギキョウ, インパチェンス, ニューギニアインパチェンス, シクラメン
平成13年度	栃木県 山口県 長野県 山梨県 群馬県	シクラメン シクラメン トルコギキョウ シクラメン シクラメン
平成14年度	千葉県 長野県	インパチェンス, トウガラシ, ペチュニア, ベゴニア, クロサンドラ, クリスマスローズ, トレニア, シクラメン ピーマン
平成15年度	宮城県 埼玉県 佐賀県	シクラメン シクラメン インパチェンス, ディアスキア, ネメシア
平成16年度	福島県 北海道 岩手県	シクラメン トルコギキョウ リンドウ
平成17年度	神奈川県 愛知県 東京都 愛媛県	シクラメン ベゴニア プリムラ, インパチェンス, キンギョソウ シクラメン, ニューギニアインパチェンス
平成18年度	三重県 山形県 茨城県	ベゴニア トルコギキョウ マーガレット

表2 I N S Vの感染が報告されている植物

科名	植物名
アカネ科	クチナシ
アブラナ科	マカリバナ
アヤメ科	アイリス, グラジオラス
アルストロメリア科	アルストロメリア
イワタバコ科	グロキシニア, セントポーリア
キキョウ科	カンパニュラ
キク科	レタス, ガーベラ, キク, シネリリア, ソリダゴ, ダリア, デージー, マリーゴールド,
〃	ムギワラギク
キツネノマゴ科	アフェランドラ
キョウチクトウ科	ニチニチソウ
キンポウゲ科	アネモネ, デルフィニウム, ラナンキュラス
クマツヅラ科	パーベナ, ランタナ
ケシ科	ケシ
コショウ科	ペペロミア
ゴマノハグサ科	カルセオラリア, キンギョソウ, ジキタリス
サクラソウ科	シクラメン, プリムラ
サトイモ科	シンゴニウム
シソ科	カクトラノオ, コリウス, サルビア, スイートバジル, 西洋ハッカ, モナルダ, モルセラ
シュウカイドウ科	ベゴニア
スベリヒユ科	マツバボタン
ツツジ科	アザレア
ツリフネソウ科	インパチエンス(アフリカホウセンカ), ニューギニアインパチエンス
ツククサ科	ムラサキツククサ
ナス科	ジャガイモ, タバコ, トウガラシ, トマト, シザンサス, ダチュラ, ペチュニア, クコ
フウロウソウ科	ゼラニウム, ツタバテンジクアオイ
ベンケイソウ科	カランコエ, セダム
バラ科	カナメモチ, シャリンバイ
ヒガンバナ科	ユーチャリス
ヒユ科	ケイトウ, センニチコウ
マメ科	エンドウ
モチノキ科	モチノキ
ユキノシタ科	アジサイ, ユキノシタ
ユリ科	タマネギ, オモト, ギボウシ, ドラセナ, ユリ
リンドウ科	エキザカム, トルコギキョウ
ラン科	ラン科の一種

横浜植物防疫所発行「病害虫情報 No.62 (2000年)」より引用